

第11回自作教材教具展 on 校内 Blog

第11回自作教材教具展（平成25年5月27日（月）～6月7日（金））が、校内 Blog 上で行われましたので紹介します。



でんでんむしの靴下人形

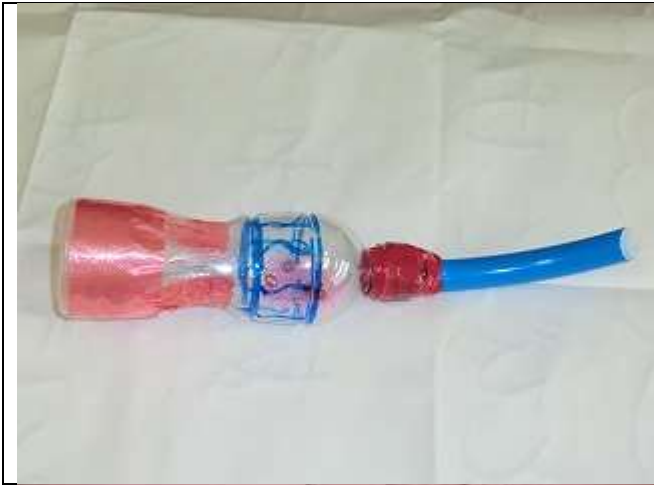
靴下に、フェルトで作った殻と目玉をつけて、でんでん虫を作りました。教師が手を通して子どもの腕などにはわせるように触れたり、子ども自身の手にはめて遊べたりして遊べます。触れているところに注目したり、付けられるのが嫌な子も、自分ではずしたりしながら手を使う活動にしたりと、子どもに合わせた展開をしました。写真のように中に500mlのペットボトルを入れて、置いて見せたり立体の掲示物にしたりして利用したこともあります。



iPad で電車の券売機

事前学習で切符を買う手順を覚えるのに活躍した「電車の券売機 iPad 版」です。写真は、タッチパネル版ですが、もちろんスイッチ版のものもあります。

タッチパネルに触れると、本物そっくりの画面が出てくるリアルさが売りで、子どもたちの反応はとても良かったです。校外学習当日の切符を買う動作にも、迷いが少なかったですね。このデータは、iPad の Keynote というアプリで作ってあります。



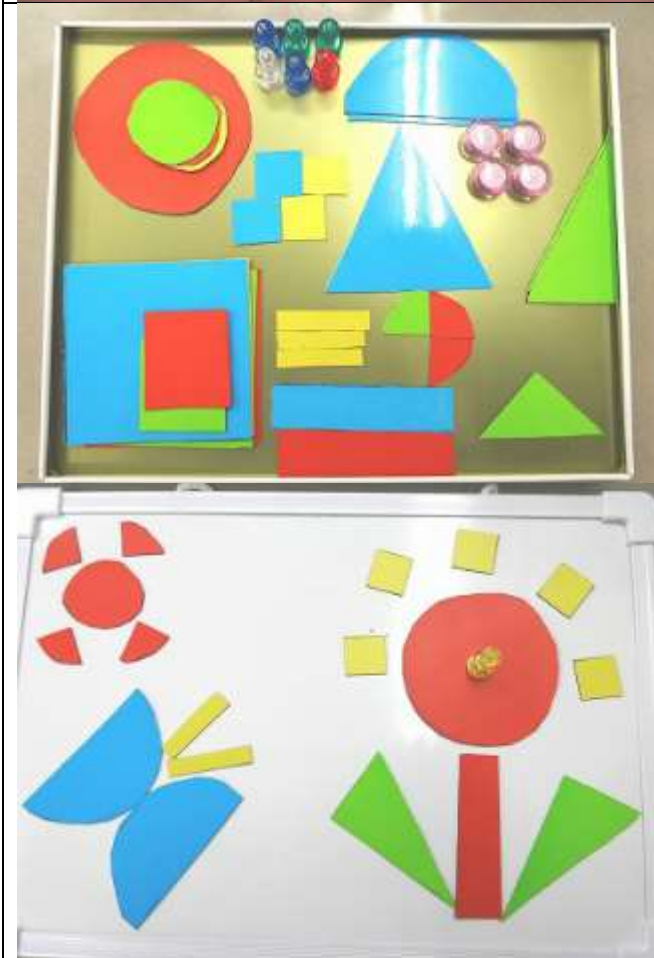
運動会応援用マラカスの取っ手

運動会応援用のペットボトルのマラカスに持ちやすいよう、水道ホースをつけました。大した工夫ではないのですが、太さ、硬さがちょうどよい具合で、自分で持って振り、応援を頑張ることができました。



食まるファイブ用ペープサート

食育劇「食まるファイブ」に向けて、食まるファイブの歌詞に合わせてペープサートを作ってみました。食育について、玉ねぎの収穫をして、それを材料にした調理学習や調理員さんへの感謝のメッセージ作りなど取り組んでいます。ペープサートは食育の一貫として作成してみました。ペープサートを使って食まるファイブの歌を歌い、食育劇を楽しく見ることができました。



どんな形ができるかな？

これはマグネットシートを○△□の形に切ったものです。マグネットやパズルが好きな生徒は、いろいろイメージを膨らませてさまざまな形を作ります。100円ショップで材料を揃えました。

組み合わせ次第では、こんなかわいい風景もつくることができます。



みんなで遊べる道具を作りたい！

100円ショップで購入できるものを寄せ集めたこの物体。その名も「とばしんぐ3号」！障がいの重い子供たちでも、自分の力で参加して遊べる道具がほしい！と思い作ったのがこの「とばしんぐ3号」です。遊び方は簡単！

- ①しゃもじの受け皿の部分に跳ばしたいものを置く。
- ②青いひもを引っ張る。または、みどりの大きな洗濯ばさみの部分をたたく。
- ③うまくいけば、ボールが前へ跳んでいきます。



キュー

昨年施設見学の時、ビリヤード体験がありました。障がいの重い生徒達でもビリヤードができるよう作りしました。



給食前の授業のグッズ

1. 食まるファイブのエプロン

ポケットの中に給食カードを入れておきます。生徒がポケットの中から給食カードを取り出し、メニューの確認をします。カードに貼ってある食まるファイブの絵と、給食メニューを貼るホワイトボードの絵をマッチングする活動にも利用できます。
2. 給食カード

昨年1年間で撮りためた給食の写真をラミネートし、持ちやすいようにひもの持ち手を付けました。
3. 給食メニューボード

給食のメニューをはりつけたり、食まるファイブのキャラクターをヒントに身体のどんな役に立っているか、確認したりします。
4. ふわふわタオル

顔遊び体操の流れの中で、昨年N先生が考案された「王様のひげ・猫のひげ」を行っています。食事の前に顔のいろいろな筋肉にタオルを使って触れます。その時、顔に触れるタオルのかわりに、触覚過敏のある生徒にも抵抗の少ないフリースのようなふわふわした素材のアームウォーマーを使用しました。